

志賀原子力発電所 1号機 残留熱除去系 B系スプレイ弁の閉め忘れについて

定期検査中の志賀1号機において、平成18年3月10日10時30分頃、圧力抑制室¹内での作業のため入域した作業員が、残留熱除去系²（以下「RHR」という）から圧力抑制室内に水が流入したと思われる痕跡があることを発見しました。

原因は、圧力抑制室の水抜き時にRHRのC系のポンプを起動した際、RHRのB系のスプレイ弁³を閉め忘れていたために水が流入したものです。

閉め忘れた当該弁は、本事象発生前に実施していたRHRのB系の水抜き時に当該弁を開状態としていたため、対策として、当該弁による水抜き終了後は当該弁を速やかに閉めることを手順書に明記しました。

なお、外部への放射能による影響はありません。

- 1 圧力抑制室：常時水を保有しており、万一の原子炉の冷却材喪失時等に、放出された蒸気を冷却凝縮するための設備。残留熱除去系の水源にもなっている。
- 2 残留熱除去系：通常の原子炉停止時や復水器が使用できない時に原子炉の崩壊熱を除去し、原子炉冷却材喪失時には炉心の冷却を行なう系統。
- 3 スプレイ弁：緊急時に圧力抑制室内の冷却・減圧を目的とした水を注入する弁。

